

The 7th Meeting of Japan Society of Stuttering and Other Fluency Disorders

日本吃音・流暢性障害学会 第7回大会

プログラム・抄録集

テーマ 吃音を癒やす 未来への架け橋

会期 2019年 8月30日金・31日土

会場 北里大学相模原キャンパス

大会長 原 由紀 北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科
言語聴覚療法学専攻

●後援：神奈川県教育委員会、神奈川県言語聴覚士会、国立特別支援教育総合研究所、
相模原市教育委員会、全国言友会連絡協議会、
全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会、日本音声言語医学会、
日本言語聴覚士協会、日本コミュニケーション障害学会、
日本特殊教育学会（50音順）



The 7th Meeting of
Japan Society of Stuttering and Other Fluency Disorders

日本吃音・流暢性障害学会 第7回大会

プログラム・抄録集

テーマ 吃音を癒やす 未来への架け橋

会期 2019年 8月30日金・31日土

会場 北里大学相模原キャンパス

大会長 原 由紀 北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科
言語聴覚療法学専攻

- 後援：神奈川県教育委員会、神奈川県言語聴覚士会、国立特別支援教育総合研究所、相模原市教育委員会、全国言友会連絡協議会、全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会、日本音声言語医学会、日本言語聴覚士協会、日本コミュニケーション障害学会、日本特殊教育学会（50音順）

日本吃音・流暢性障害学会 第7回大会事務局

北里大学医療衛生学部 リハビリテーション学科
言語聴覚療法学専攻内

〒252-0373 神奈川県相模原市南区北里1-15-1
E-mail: jssfdmeeting7@gmail.com

ご 挨拶

日本吃音・流暢性障害学会 第7回大会

大会長 原 由紀

(北里大学 医療衛生学部)

このたび、2019年8月30日(金)・31日(土)の2日間にわたり、神奈川県相模原市の北里大学において日本吃音・流暢性障害学会第7回大会を開催させていただきます。このような機会をいただき大変光栄に存じます。

本大会のテーマは『吃音を癒やす 未来への架け橋』です。臨床家と研究者、そして吃音のある方たちとの間に架ける橋、そして、これから成長していく子ども達の未来に架ける橋をイメージしました。

今回は、皆さまよくご存知の作家 重松清氏に特別講演をお願いいたしました。「きよしこ」や「青い鳥」に心震わせた方も多いのではないでしょうか。ご講演を切望しておりましたが、実現することができ大変嬉しいです。

昨年の国際学会で全国言友会連絡協議会の皆さまと共に海外からのお客様をお迎えし、日本の「おもてなし」を実現しました。この絆を深め続けたいと願い、「マイメッセージ」、「女性の集い」、「社会との連携を目指して」を企画に加えさせていただきました。様々な方向に発信され、益々活発になるセルフヘルプグループ活動の未来を、言語聴覚士や研究者も加わり熱く語り合えたらと思っています。

口頭・ポスター発表も38演題が集まりました。1題20分の口頭発表時間を設け、40分間のポスターセッションの時間を設けております。たっぷりご討議ください。

大規模疫学調査と幼児期介入 RCT の報告や、思春期吃音臨床を巡るシンポジウムも企画しました。米国から臨床家であり研究者であり当事者の Derek Daniels 博士にも加わっていただき、活発な議論がなされる事と思います。リックムプログラム協会の Brenda Carey 博士が、親御さん、教員、医師向けのショート・ビデオセミナーを、今大会の為に作成してくださいました。

吃音に携わる臨床家が少しでも増えるように、明日からの臨床に活かせるようにと、吃音臨床初心者向けの「吃音臨床の手引き - 初めてかかわる方へ - 幼児期から学童期用 インテーク版 ver2.1」の活用ワークショップや5つのハンズオンセミナー、大会の翌日にはポストコンgressセミナーも開催されます。

全ての講演者、企画者、ファシリテーターの先生方、本当にありがとうございます。参加される皆さまの絆が深まり、明日からの元気につながる大会となることを願っております。

第7回大会にあたって

日本吃音・流暢性障害学会

理事長 長澤 泰子

(NPO 法人こどもの発達療育研究所)

日本吃音・流暢性障害学会第7回大会が、北里大学の原 由紀大会長のもとで、神奈川県相模原市の北里大学において開催されることを、こころからお慶び申し上げます。テーマは「吃音を癒やす 未来への架け橋」です。

会期は 8月30日(金)、8月31日(土)の2日間ですが、その間、口頭発表やポスター発表は当然のことながら、作家 重松 清氏による特別講演「ことばのちから」、Wayne State University の Derek E. Daniels 准教授を交えた「思春期の吃音臨床をめぐるシンポジウム」、「開こう、吃音臨床の扉を」と題する初心者向けのワークショップ、社会との連携を目指す当事者を中心としたパネルディスカッション、その他ハンズオンセミナーやビデオセミナーなどと多彩なプログラムが組まれています。さらに、9月1日にはポストコンGRESSとして、

①学童期の吃音指導・支援3

②吃音検査法

の2本が同時に進行します。プログラムのどの部分を取り上げても、吃音の臨床や研究に欠かせない重要なテーマが盛り込まれています。臨床家・研究者・当事者とその家族がそれぞれの立場から、吃音を癒やすとは、未来への架け橋とは、を考える良いチャンスになることと思います。

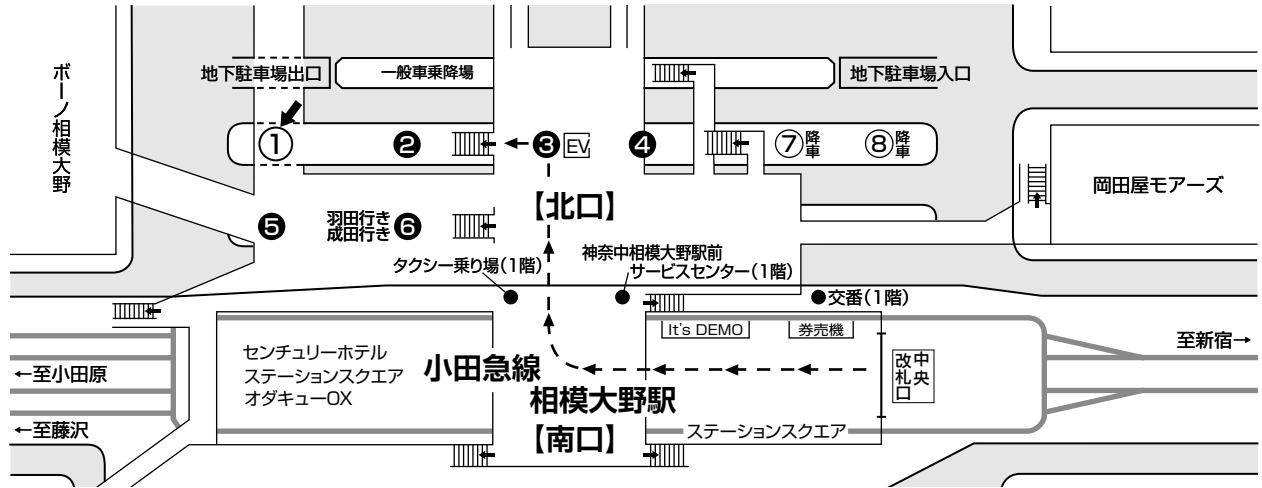
第6回大会は、昨年、「ことばがつなぐ一つの世界」というテーマの世界合同会議の中で、国際流暢性学会などとともに、広島において成功裡に終了しました。原 大会長は、この国際会議でも、胸がすくような素晴らしい活躍をなさり、大会長 川合紀宗教授(広島大学)をサポートなさっていました。

二年続けて本学会に貢献して下さる原大会長とそれを可能にして下さる多くの会員に深く感謝致します。また、ご参加の皆様には、当事者参加型というユニークな本学会の発展のためにご尽力下さいますようお願い申し上げます。

バス時刻表

小田急線 相模大野駅【北口】

バス乗り場①より北里大学病院・北里大学行きにご乗車ください。
 バス乗り場③より麻溝台経由 北里大学病院・北里大学行きもご利用になれます。



行き

行先 北里大学病院・大学経由 相模原駅南口
 系統番号 相25 大25 大68 大53

時	平日	土曜
6	02 10 20 30 37 45 48 55	20 40 52
7	00 05 10 15 20 30 35 40 47 50 55	00 10 20 30 40 50
8	00 05 10 15 20 25 30 40 50	05 10 25 30 45 50
9	00 10 20 30 40 50	15 25 30 40 50
10	00 10 20 30 40 50	00 10 24 30 40 55
11	00 10 20 30 40 50	05 10 20 30 45 55
12	00 10 20 30 40 50	10 15 30 35 47 50
13	00 10 20 30 40 50	10 15 20 30 40 50
14	00 10 20 30 40 50	05 10 20 30 40 50
15	00 10 20 30 40 50	00 10 20 30 40 50
16	00 10 20 30 40 50	00 10 20 30 40 48 55
17	00 10 20 30 40 50	05 15 25 33 40 50
18	00 10 20 30 40 50	00 10 20 30 40 47 53
19	00 10 20 30 40 50 55	00 10 15 20 40
20	00 10 20 30 40 50	00 10 20 30 40 50
21	00 10 20 40 55	00 15 30 45
22	10 30 50	00 25 50
23	11 45	10 40

帰り

行先 相模大野駅北口行
 系統番号 相25 大15 大25 大53 大68

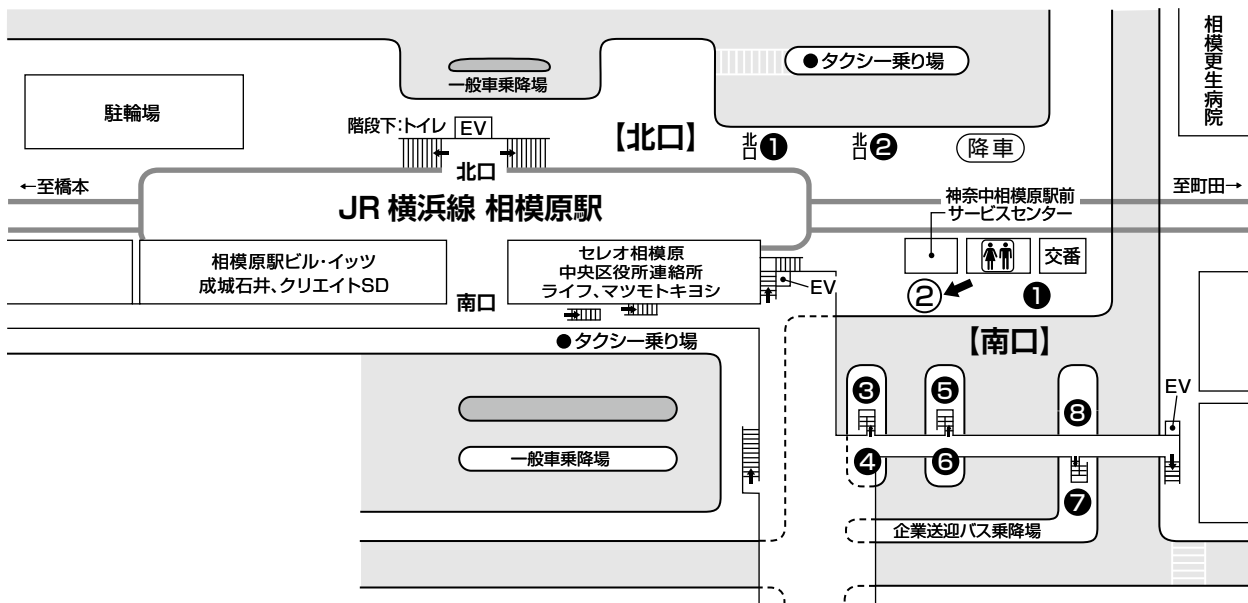
時	平日	土曜
5	41 49 59	
6	04 09 21 28 31 38 41 48 51 59	00 15 31 41 46 51 59
7	03 06 14 18 24 28 34 38 44 48 52 58	01 14 20 34 40 54 59
8	02 08 12 18 24 28 29 34 48 54	00 11 14 20 37 39 54
9	07 12 14 17 22 31 37 48 57	00 09 19 20 34 43 54
10	08 14 15 27 35 53 57	00 08 14 19 22 34 40 44
11	17 27 39 41 53 57	00 14 23 34 39 40 54
12	17 27 39 41 53 57	05 14 22 34 39 45 54
13	17 27 41 53 57 59	00 09 20 30 34 44 59
14	17 27 41 53 57 59	00 09 18 24 40 44 59
15	17 27 41 53 57	00 15 25 30 45 55
16	15 19 27 35 55 57	05 15 19 25 35 55
17	15 19 35 38 55 58	05 15 19 25 35 45 55
18	17 18 29 38 39 53 58	04 10 24 34 39 40 50
19	17 18 29 37 39 51 53	02 21 30 39 41 53
20	14 17 29 31 51 53 59	01 21 41
21	06 30 54 59	01 02 16 31
22	06 26 46	01 26 41
23	16	06

■：深夜バス

○：光が丘一丁目止まり □：麻溝車庫止まり

JR 横浜線 相模原駅【南口】

バス乗り場②より北里大学病院・北里大学行きにご乗車ください。



行き

行先 北里大学病院・大学経由 相模大野駅行
系統番号 相25 相28 相29

時	平日	土曜
6	00 10 20 30 40 50	10 30 50
7	00 10 (15) 20 30 40 50	10 30 50
8	00 20 (30) 40 50 55	15 30 45
9	10 30 (50)	10 30 50
10	00 30 (53)	10 20 50
11	00 (20) 30	10 (15) 30 50
12	00 30 (50)	10 (20) 30 45 (55)
13	00 (25) 30	10 20 45
14	00 30 (55)	00 20 50
15	00 30 (45)	05 20 40
16	00 (08) 30	00 10 30 40
17	10 30 (45) 50	00 20 40
18	10 30 (40) 50 (55)	00 10 40
19	15 (25) 30 (45) 53	00 20 40 (50)
20	(00) (05) 10 (20) 30 45	00 (10) 20 40 55
21	(00) (20) (35) 45	10 40
22	05 25 55	05 20 (30) 45
23	(15)	(15)

■：深夜バス
□：麻溝車庫止まり ○：北里大学病院・北里大学止まり

帰り

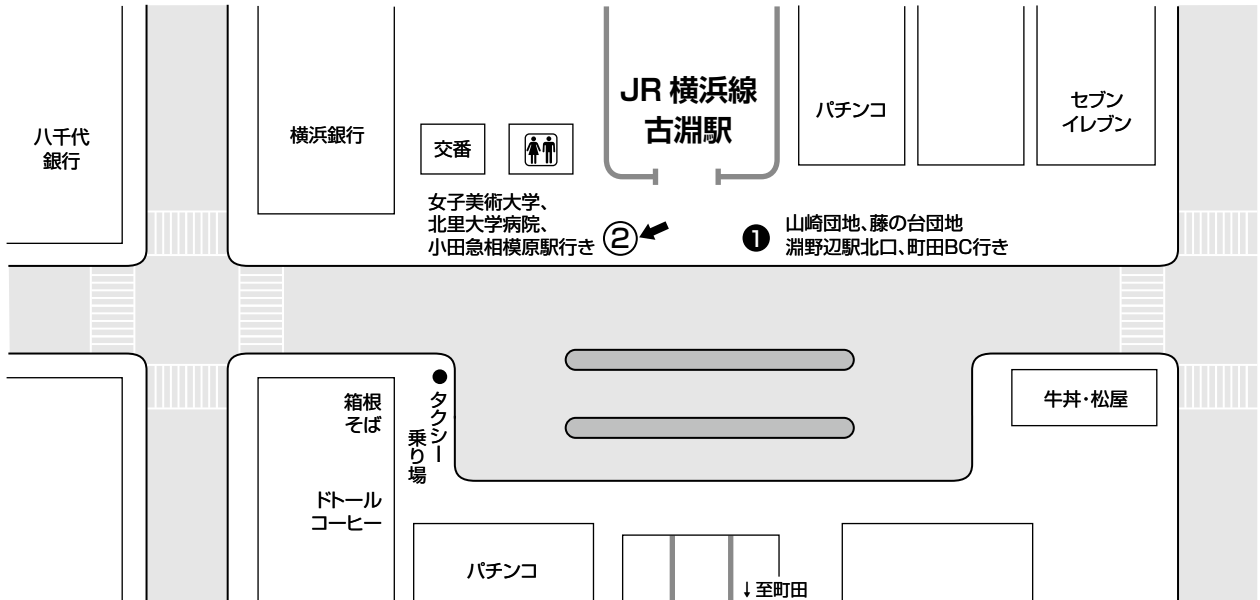
行先 相模原駅南口行
系統番号 相21 相25 相27 相29 大25 大68

時	平日	土曜
5		
6	16 24 34 44 48 59	34 54
7	12 23 32 38 40 50	08 14 32 34 54
8	01 11 19 21 23 31 41 51	08 19 40 44 59
9	01 09 28 45 58	13 20 33 45 48 58
10	13 19 38 49 57	08 22 32 35 52
11	00 19 25 33 49	02 16 27 42
12	05 10 19 31 40 49	07 16 25 37 45 52
13	05 10 19 25 33 49	12 21 30 37 42
14	00 15 19 33 49	02 16 20 25 27 42 50
15	05 16 19 30 38 49	02 11 22 42 50
16	00 10 19 36 40 49	02 22 31 42
17	00 15 29 33 49	02 17 27 38 46 55
18	01 09 21 25 29 40 49 58	02 22 35 42 (50)
19	07 23 26 30 46 55	02 (07) 19 (24) 35 39 50 59
20	06 (11) (16) 18 26 46	16 23 (26) 36 (46) 56
21	06 16 (26) 36 56	06 (16) 31 46
22	(11) 26 46	01 16 41
23	(06) (27) (59)	(06) (26) (54)

■：深夜バス
□：麻溝車庫止まり ○：光が丘一丁目止まり

JR 横浜線 古淵駅

バス乗り場②より北里大学病院・北里大学行きにご乗車ください。



行き

行先 ゴルフ場前経由
北里大学病院・北里大学行

系統番号 古01

時	平日	土曜
6		
7	30	30
8	00 40	00 30
9	10 40	00 30
10	40	00
11	30	00
12	30	00
13	00 30	00
14	00	00
15	00	00
16	00	00
17	00 30	00
18	02 32	00
19	02 32	00
20	02 32	00
21		
22		
23		

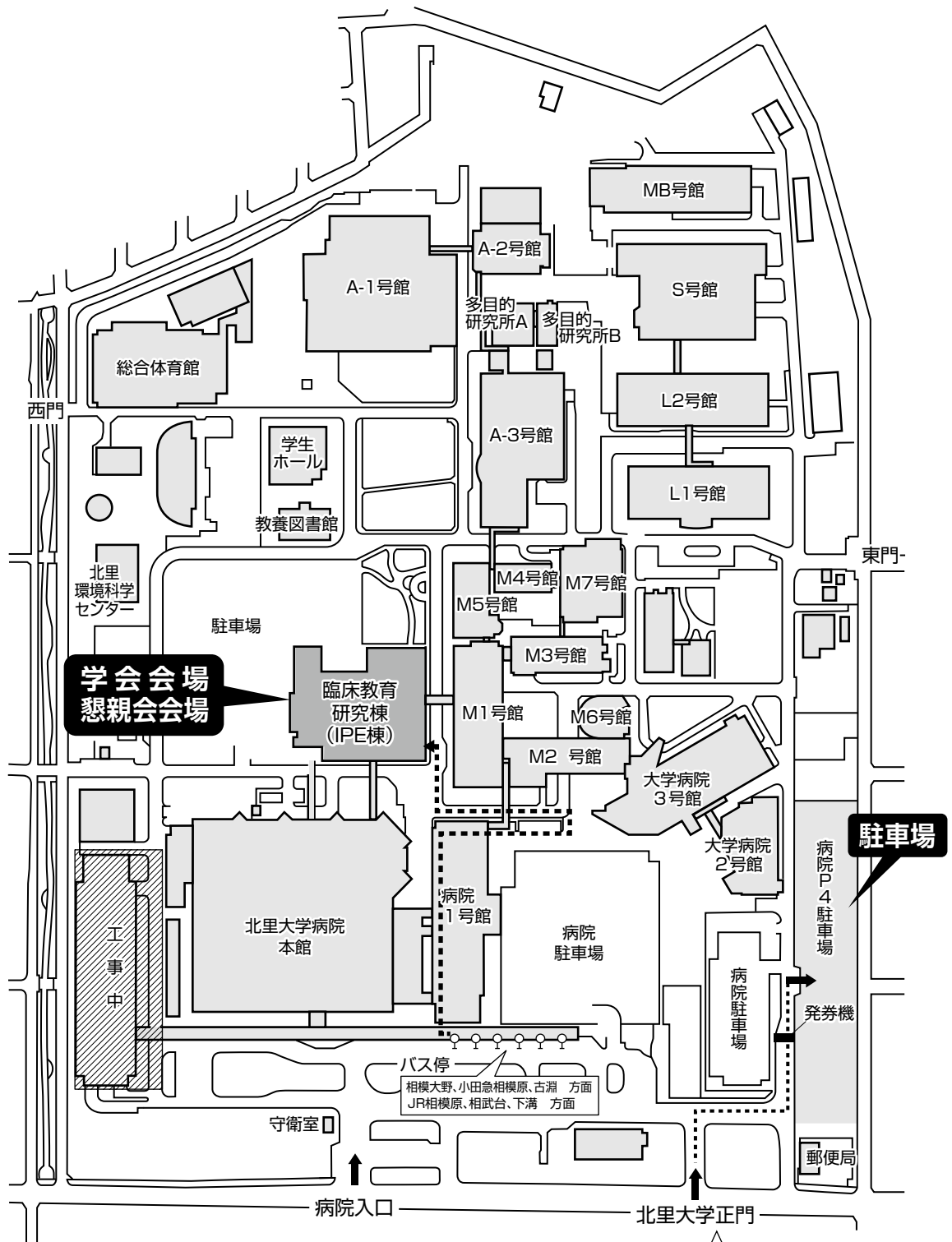
帰り

行先 ゴルフ場前経由
古淵駅行

系統番号 古01

時	平日	土曜
6		
7	00 27	00 30
8	05 35	00 30
9	10	00 30
10	10	30
11	00	30
12	00 30	30
13	00 30	30
14	30	30
15	32	32
16	30	30
17	00 30	30
18	00 30	32
19	00 32	32
20	00	
21		
22		
23		

キャンパスマップ



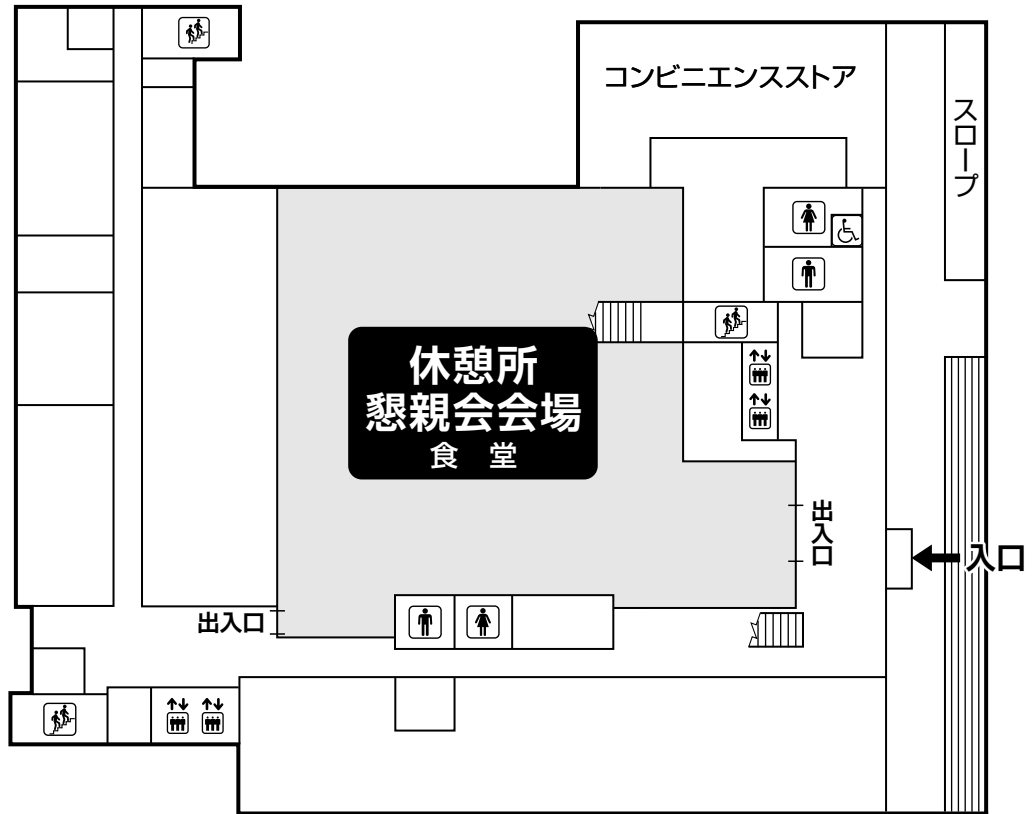
■ お車でお越しの方は病院P4駐車場をご利用ください。

- 「北里大学正門」の信号より入り、発券機で必ず「利用者駐車券」を受け取って、入構してください。
- 「利用者駐車券」はお帰りの際まで、大切に保管してください。
- 総合受付にて「利用者駐車券」をご提示の上、「無料駐車券」をお受け取りください。
- お帰りの際は、「利用者駐車券」と「無料駐車券」の2枚が必要となります。

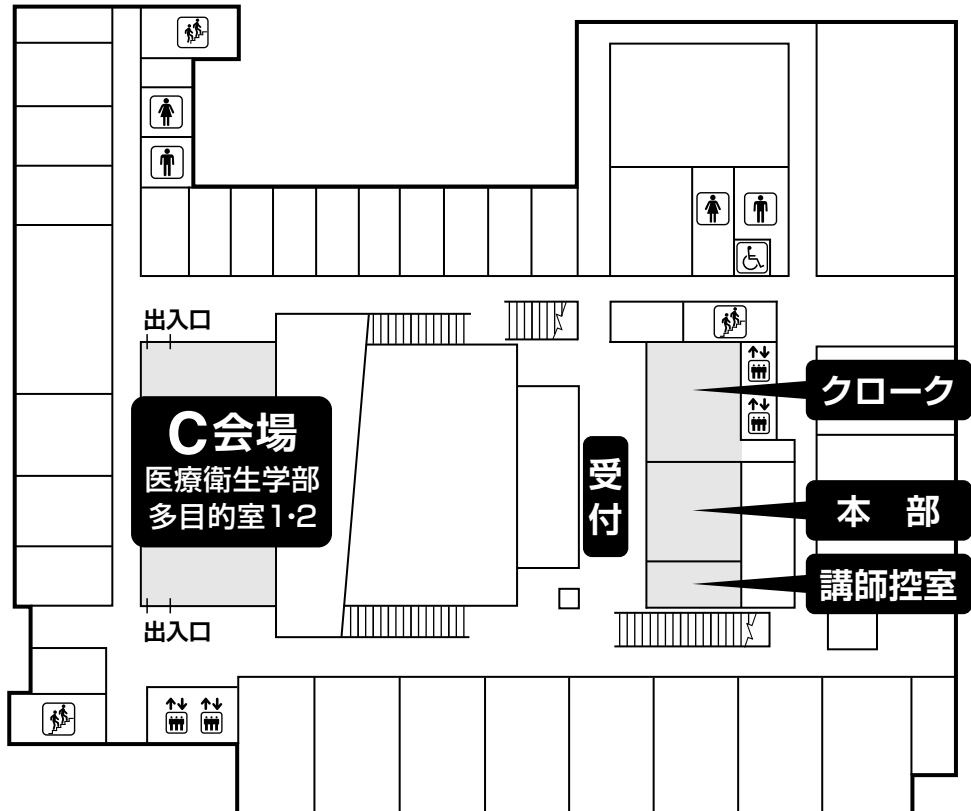
※お車でお越しの方は、こちらの入口から入り、「病院P4駐車場」を利用してください。

会場案内図

1F



2F

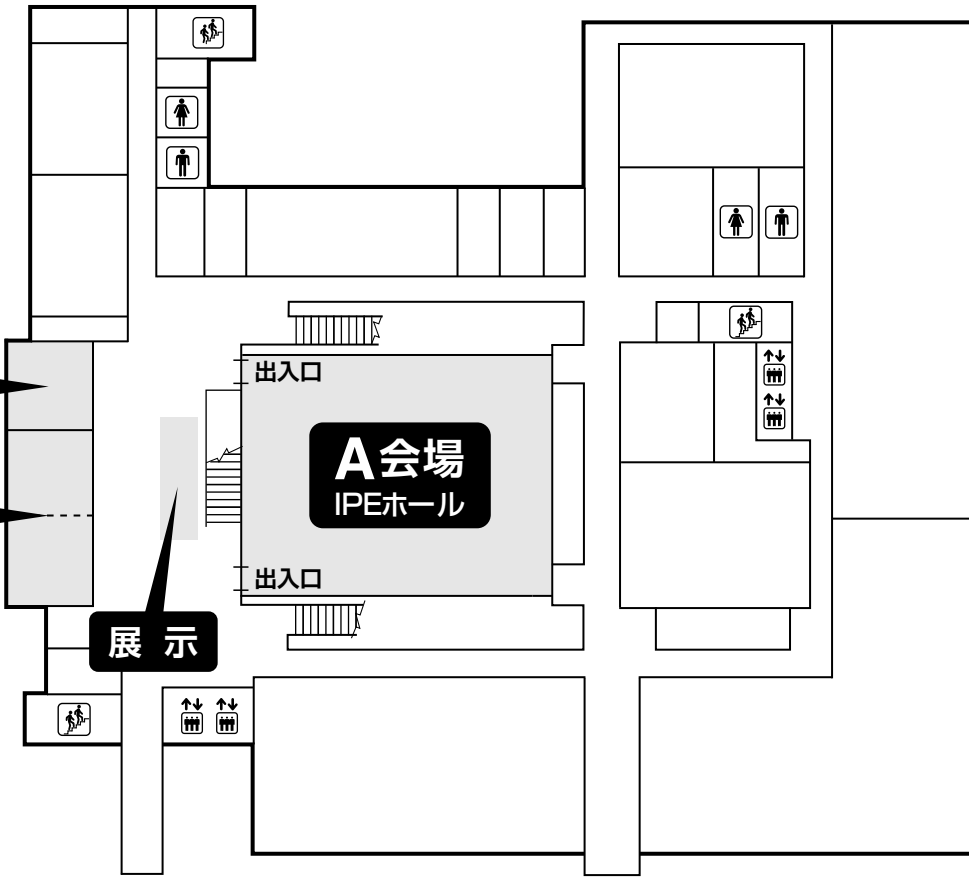


3F

展示

ポスター
会場

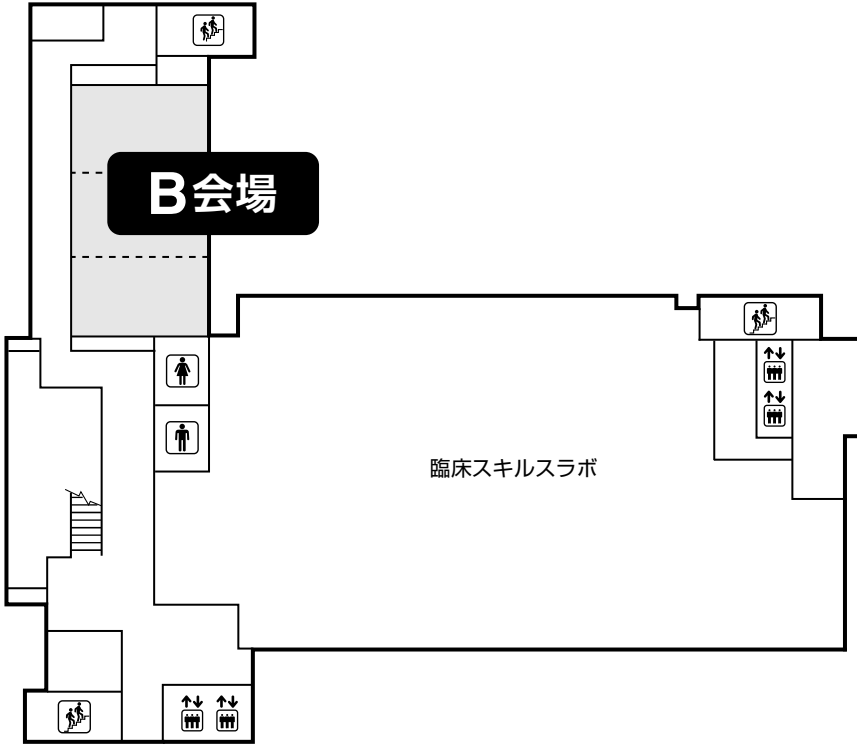
展示



5F

B会場

臨床スキルスラボ



参加される皆様へ

■参加受付

場 所：北里大学臨床教育研究棟（IPE 棟）2階

時 間：8月30日（金）・8月31日（土）8時30分より

※ネームカードは大会期間中必ずご着用ください。再発行はいたしません。

■参加費

	事前参加登録 （～8/9）	当日参加登録 （事前参加登録をしても未納の方はこちら）	
会 員	6,000円	7,000円	抄録集を含みます
非会員	8,000円	9,000円	抄録集は含みません
学 生	1,000円	1,000円	抄録集は含みません

※抄録集は、受付にて1冊1,000円で販売いたします（先着順、数に限りがございます）。

[学生の方へ]

学生の方は、大会参加当日に学生であることが条件です。受付時に学生証、もしくは在学証明書を必ずご提示ください。証明書のご提示がない場合は、学生としての参加はできません。

■発表等の撮影・録画・録音について

当大会の全ての発表、講演、ポスター等の撮影や録画（写真、動画等）、録音は禁止です。なお、大会の報道担当が大会中に写真を撮影いたします。記録から除外して欲しい場合は大会事務局にお申し出ください。

■展 示

北里大学臨床教育研究棟（IPE 棟）3階 ラウンジで書籍・機器の展示を行います。

■懇 親 会

8月30日（土）17:50～19:00に北里大学臨床教育棟（IPE 棟）1階 食堂にて懇親会を行います。参加は事前に登録された方に限定させていただきます。

■休憩室および昼食

- 会場1階のコンビニエンスストアおよび食堂をご利用いただけます。
- 食堂は休憩室としてもご利用ください。
- 昼食のごみは各自お持ち帰りください。
- A 会場は飲食不可です。

■ お子様連れの参加者の方へ（特別講演の無料参加枠を除きます）

- 託児室の設置はございません。
- 各会場出入り口付近には親子席を設けております。お子様と一緒に講演を聴講することが可能です。
- 特別講演の際は5階 サテライト会場に親子席およびお子様のフリースペースを設けております。
- 授乳室とオムツ交換の場所に関しては、係のご案内いたしますので、受付までお声掛けください。オムツは各自お持ち帰りください。

■ 総会について

日 時：8月30日（金）13:10～14:00

場 所：北里大学臨床教育研究棟（IPE 棟）3階 A 会場

出席者数確認のため、10分前にご着席ください。なお、総会に出席できない方は、あらかじめ委任状を学会事務局（大会事務局ではありません）に提出してください。学生会員および賛助会員、非会員の方は採決に加わることはできませんので、傍聴席にお座りください。

■ 役員会、委員会について

規約委員会、プログラム委員会、広報委員会：8月30日（金）12:20～13:10 C 会場（2階）

学術誌編集委員会、講習研修委員会、事務局・第8回大会サポートチーム合同会議

：8月31日（土）12:20～13:10 C 会場（2階）

■ 特別講演の整理券配布について

多くの皆様、事前登録いただきありがとうございます。

8月31日（土）14時半から行われます特別講演 重松清氏の「ことばのちから」は、A 会場で開催されます。本講演（A 会場）は、満席になる事が予想されますが、サテライト会場を準備しておりますので、皆様、必ずお聞き頂けます。

A 会場での聴講をご希望の方は

8月31日（土）8:30から 総合受付にて整理券を配布致します。

■ その他

(1) クロークは、2階にございます。

(2) 拾得物・遺失物、学会本部に御用の方は、「総合受付」にお申し出ください。

(3) お車でお越しの方へ

北里大学病院 P4 駐車場をご利用ください。

「北里大学正門」の信号より入り、ゲートの発券機で必ず「利用者駐車券」を受け取って入構してください。「利用者駐車券」はお帰りの際まで、大切に保管してください。総合受付にて「利用者駐車券」をご提示の上、「無料駐車券」をお受け取りください。お帰りの際は、ゲートで「利用者駐車券」を挿入後に「無料駐車券」をお使いください。

座長・司会者の方へ

1. 開始予定の30分前までに、臨床教育研究棟（IPE 棟）2階の「講師・司会・座長受付」にて受付をお済ませください。
2. 開始予定の10分前には、次座長席にお着きください。
3. 口頭発表の1演題の発表時間は、質疑応答を含め20分です。
4. 質疑応答では、発言者の所属・氏名を確認してください。

一般演題発表者の方へ

■口頭発表

1. 口頭発表受付について

- ①臨床教育研究棟（IPE 棟）2階に PC 受付がございます。
各セッション開始の30分前までに「PC 受付」をお済ませください。
- ②2日目に発表される方も1日目に受け付け可能です。

2. 発表用データについて

- ①口頭発表は原則として会場設置の Windows PC のご使用をお願いいたします。
- ②用意しているコンピュータの OS とアプリケーションは以下の通りです。
OS：Windows10
プレゼンテーションソフト：Microsoft PowerPoint 2016
PowerPoint のスライドのサイズは、標準（4：3）で作成してください。
事前にご自身の PC にて必ず動作チェックを行なってください。
- ③演者の方は発表データを USB メモリーに保存し、「PC 受付」へお持ちください。USB メモリーは、必ず事前にウイルスチェックを済ませてからご持参ください。
※その他のメディアは受け付けられません。ご注意ください。
- ④動画・音声等を使用される場合は、必ず「動画」「音声」として挿入してください。元のデータから「リンク」させることはトラブルの原因となりますのでお避けください。
- ⑤ファイルの取り間違えを防ぐために、ファイル名を〔演題番号－発表者の姓〕に統一させていただきます（英数字は半角）。
例）演題番号 IB-7、北里太郎さんの場合は〔1B-7北里〕とします。
- ⑥発表データ（PowerPoint）は、いったん受付用 PC にコピーし、動作確認後に係の者が各会場の PC のデスクトップにコピーいたします（コピーした発表用データは、学会終了後、事務局が責任をもって破棄いたします）。

3. 口頭発表について

- ①PCの操作は演者ご自身でお願いします。操作支援・補助が必要な場合は「PC受付」にご相談ください。
- ②発表時間は質疑応答を含め20分です。発表は概ね12分までとし、必ず質疑応答の時間をとってください。

■ポスター発表

1. ポスターの掲示作業について

- ①ポスター発表の受付はございません。
- ②発表者は会場内に設置してある所定の位置(縦190cm×横90cm:1面)に貼り付けてください。当日掲示用のマグネット類を用意いたしますのでご使用ください。
- ③ポスターの貼り付けは、8月30日(金)9:00～10:30をお願いいたします。
- ④演題番号はパネルの左上に予め貼り付けてあります(20cm×20cm)。
その横のスペース(縦20cm×横70cm)に演題名、演者名、および所属名を掲示してください。それ以外のスペースは、はみ出さない範囲でご自由にお使いください。

2. 質疑応答について

参加者と質疑応答する機会を設けますので、発表者は指定された時間の40分間、各ポスター前に待機してください。座長はおりません。自由にディスカッションを行ってください。

3. ポスター撤去作業について

- ①撤去作業は、8月31日(土)13:50～16:10をお願いいたします。
- ②上記時間帯に撤去されなかった場合は、学会終了後に事務局が廃棄いたしますのでご了承ください。

1日目 2019年8月30日金

	A会場 3F IPEホール	B会場 5F チーム医療演習室1・2・3	C会場 2F 医療衛生学部多目的室1・2	ポスター会場 3F チーム医療演習室1・2
8:30	8:30～ 受付開始			
9:00	9:05～ 開会挨拶			9:00 ～ 10:30 ポスター 掲示
10:00	9:20～10:10 ハンズオンセミナー 1 段々わかってきた!クラタリングのこと 発表者: 宮本 昌子 司会: 西田 立郎	9:10～10:30 口頭発表 1 1B-1～4 座長: 菊池 良和	9:10～10:30 口頭発表 2 1C-1～4 座長: 村瀬 忍	
11:00	10:20～12:20 シンポジウム 思春期の吃音臨床をめぐる課題と 今後に向けて シンポジスト: Derek E. Daniels 吉澤 健太郎 北條 具仁 座長: 川合 紀宗		11:00～11:20 ビデオセミナー リッカムプログラムについて	10:30～ 17:40 ポ ス タ ー 展 示
12:00	12:20～13:10 昼休み	12:20～13:10 昼休み	12:20～13:10 各委員会他	
13:00	13:10～14:00 総会		13:20～13:40 ビデオセミナー リッカムプログラムについて	
14:00	14:00～15:20 AMED 研究報告 幼児期吃音の疫学研究・介入研究 発表者: 酒井 奈緒美 坂田 善政 座長: 森 浩一	14:00～15:20 口頭発表 3 1B-5～8 座長: 綾部 泰雄	14:00～14:50 ハンズオンセミナー 2 苦手な音を練習しよう! 発表者: 安田 菜穂 司会: 中村 勝則	
15:00				15:20～ 16:00 ポスター発表 1P-1～9
16:00	16:00～17:40 口頭発表 4 1A-1～5 座長: 前新 直志	16:00～16:50 ハンズオンセミナー 3 認知行動療法的な電話訓練 発表者: 森 浩一 司会: 脇 豊明		ポ ス タ ー 展 示
17:00				
18:00	17:50～19:00 懇親会 会場: IPE棟 1階食堂			

2日目 2019年8月31日(土)

	A会場 3F IPEホール	B会場 5F チーム医療演習室1・2・3	C会場 2F 医療衛生学部多目的室1・2	ポスター会場 3F チーム医療演習室1・2
8:30	8:30～ 受付開始			
9:00	9:00～9:50 ハンズオンセミナー 4 発達障害のある人との コミュニケーションのコツ 発表者：石坂 郁代 司会：吉澤 健太郎	9:00～9:50 ハンズオンセミナー 5 認知行動療法を用いた グループ訓練 発表者：北條 具仁 司会：安田 菜穂	9:00～10:00 女性の集い ～女性吃音の方と吃音当事 者に関わる女性のご家族 で語り合しましょう～ 企画：安井 美鈴・丸岡 美穂 松本 正美	9:00～ 13:50
10:00	10:00～11:30 パネルディスカッション 社会との連携を目指して パネリスト：横井秀明・竹内俊充 飯村大智・岡部健一 戸田祐子 座長：斉藤 圭祐	10:10～11:50 ワークショップ 「吃音臨床の手引き －初めてかかわる方 へ－ 幼児期から学童 期用」の活用 企画：堅田 利明 (申込者限定)	10:30～11:50 口頭発表 5 2C-1～4 座長：小林 宏明	ポ ス タ ー 展 示
11:00				
12:00				11:50～ 12:30 ポスター発表 2P-1～8
13:00	12:30～13:10 昼休み	12:30～13:10 昼休み	12:20～13:10 各委員会他	ポ ス タ ー 展 示
	13:10～13:50 マイメッセージ			
14:00	14:00 開 場	14:00 開 場	14:00 開 場	13:50～ 16:10
15:00	14:30～16:00 特別講演 ことばのちから 講師：重松 清 司会：原 由紀	14:30～16:00 サテライト会場	14:30～16:00 サテライト会場	ポ ス タ ー 撤 去
16:00	16:00～ 閉会挨拶			
17:00				

プログラム

特別講演 8月31日(土) 14:30～16:00

A会場(3F IPE ホール)

司会：原 由紀(北里大学 医療衛生学部)

SL ことばのちから

重松 清(しげまつ きよし)

シンポジウム 8月30日(金) 10:20～12:20

A会場(3F IPE ホール)

座長：川合 紀宗(広島大学学術院)

思春期の吃音臨床をめぐる課題と今後に向けて

S-1 Working with Adolescents Who Stutter: Challenges, Treatment, and Future Directions

Derek E. Daniels
Wayne State University, Detroit, Michigan, USA

S-2 吃音を主訴に受診する高校生の現状について

吉澤 健太郎(よしざわ けんたろう)
北里大学東病院 リハビリテーション部

S-3 吃音のある中高生への調査と臨床から見てきたこと

北條 具仁(ほうじょう ともひと)
国立障害者リハビリテーションセンター

パネルディスカッション 8月31日(土) 10:00～11:30

A会場(3F IPE ホール)

司会：齊藤 圭祐(全国言友会連絡協議会)

社会との連携を目指して

パネリスト：横井 秀明(よこい ひであき)	全国言友会連絡協議会
竹内 俊充(たけうち としみつ)	どーもわーく
飯村 大智(いひむら だいち)	筑波大学人間総合科学研究科 博士後期課程
岡部 健一(おかべ けんいち)	旭川荘南愛媛病院
戸田 祐子(とだ ゆうこ)	きつおん親子カフェ

幼児期吃音の疫学研究・介入研究

A-1 日本における幼児吃音の疫学：2年間のコホート調査の報告

酒井 奈緒美(さかい なおみ)
国立障害者リハビリテーションセンター

A-2 幼児期吃音の介入研究

坂田 善政(さかた よしまさ)
国立障害者リハビリテーションセンター学院 言語聴覚学科

ハンズオンセミナー1 8月30日(金) 9:20～10:10

H-1 段々わかってきた！クラタリングのこと

宮本 昌子(みやもと しょうこ)
筑波大学 人間系

ハンズオンセミナー2 8月30日(金) 14:00～14:50

H-2 苦手な音を練習しよう！

安田 菜穂(やすだ なお)
北里大学東病院 リハビリテーション部(言語聴覚士)

ハンズオンセミナー3 8月30日(金) 16:00～16:50

H-3 認知行動療法的な電話訓練

森 浩一(もり こういち)
国立障害者リハビリテーションセンター

ハンズオンセミナー4 8月31日(土) 9:00～9:50

A会場(3F IPE ホール)

司会：吉澤 健太郎(北里大学東病院 リハビリテーション部)

H-4 発達障害のある人とのコミュニケーションのコツ

石坂 郁代(いしざか いくよ)

北里大学医療衛生学部 言語聴覚療法学専攻(言語聴覚士)

ハンズオンセミナー5 8月31日(土) 9:00～9:50

B会場(5F チーム医療演習室1・2・3)

司会：安田 菜穂(北里大学東病院 リハビリテーション部)

H-5 認知行動療法を用いたグループ訓練

○北條 具仁(ほうじょう ともひと)、森 浩一、酒井 奈緒美、灰谷 知純、角田 航平

国立障害者リハビリテーションセンター病院

ビデオセミナー 8月30日(金) 11:00～11:20、13:20～13:40

C会場(2F 医療衛生学部多目的室1・2)

V リッカムプログラム —親御さん、学校の先生、医師むけ—

Brenda Carey

リッカムプログラム協会

ワークショップ〈申込者限定〉 8月31日(土) 10:10～11:50

B会場(5F チーム医療演習室1・2・3)

W 開こう、吃音臨床の扉を

「吃音臨床の手引き —初めてかかわる方へ— 幼児期から学童期用
インターク版 ver2.1」の活用

堅田 利明(かただ としあき)

関西外国語大学

女性の集い 8月31日(土) 9:00～10:00

C会場(2F 医療衛生学部多目的室1・2)

女性の集い

～女性吃音の方と吃音当事者に関わる女性のご家族で語り合いましょう～

○安井 美鈴(やすい みすず)¹⁾³⁾、松本 正美²⁾、丸岡 美穂³⁾

1)大阪人間科学大学、2)全国言友会協議会、3)おおさか結言友会

スピーカー：渡邊 宏	よこはま言友会
富樫 久美子	よこはま言友会
滝澤 美紅	よこはま言友会
立川 英雄	福岡言友会

口頭発表 プログラム

口頭発表1 8月30日(金) 9:10～10:30

B会場(5F チーム医療演習室1・2・3)

座長：菊池 良和(九州大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科)

1B-1 吃音のある成人に対する集団認知行動療法の実践報告

○灰谷 知純(はいたに ともすみ)¹⁾、北條 具仁²⁾、酒井 奈緒美¹⁾、角田 航平²⁾、金 樹英²⁾、森 浩一³⁾

1) 国立障害者リハビリテーションセンター研究所、2) 国立障害者リハビリテーションセンター病院、3) 国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局

1B-2 腹圧式吃音改善法を用いた成人吃音の改善例

○羽佐田 竜二(はさだ りゅうじ)¹⁾²⁾

1) 特定非営利活動法人 つばさ吃音相談室、2) 医療法人赫和会 杉石病院

1B-3 大阪市立大学病院耳鼻咽喉科における吃音臨床の現状と耳鼻咽喉科医の役割

○阪本 浩一(さかもと ひろかず)¹⁾、藤本 依子²⁾

1) 大阪市立大学 医学部 耳鼻咽喉科、2) 大阪市立大学 医学部附属病院 リハビリテーション科

1B-4 吃音リハビリ外来新設にてみてきたその需要と効果の検討

○飯田 裕幸(いいた ひろゆき)¹⁾、小豆畑 丈夫²⁾、浅見 美帆¹⁾、田中 岳史¹⁾、武藤 祥太¹⁾

1) 青燈会小豆畑病院 リハビリテーション科、2) 青燈会小豆畑病院 救急・総合診療科

口頭発表2 8月30日(金) 9:10～10:30

C会場(2F 医療衛生学部多目的室1・2)

座長：村瀬 忍(岐阜大学 教育学部)

1C-1 教員を目指す学生向け吃音啓発講義ビデオの開発

○宮本 夏織(みやもと かおり)¹⁾、小林 宏明²⁾

1) 長野県飯田養護学校、2) 金沢大学 人間社会研究域学校教育系

1C-2 広島きつおん親子カフェの取り組み

—吃音啓発リーフレットの作成及び無料配布活動—の報告

○戸田 祐子(とだ ゆうこ)¹⁾、常井 幸恵²⁾

1) 広島市言語・難聴児育成会 きつおん親子カフェ、2) 広島市立古市小学校

1C-3 通常学級で行う「吃音授業」の取り組み

○内藤 麻子(ないとう あさこ)¹⁾、餅田 亜希子²⁾、堅田 利明³⁾

1) 医療法人梓誠会 梓川診療所、2) 東御市民病院、3) 関西外国語大学

1C-4 吃音理解教育への重松清作品の活用

○見上 昌睦(けんじょう まさむつ)

福岡教育大学 特別支援教育ユニット

1B-5 柔道整復師の実技試験時間を延長できた1例

- 菊池 良和(きくち よしかず)、山口 優実、中川 尚志
九州大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科

**1B-6 吃音者の就労支援における各国の動向：
国際プロジェクト「50 Million Voices」からの報告**

- 飯村 大智(いひむら だいち)¹⁾²⁾³⁾、Willkie Iain⁴⁾
1) 筑波大学大学院 人間総合科学研究科、2) 日本学術振興会 特別研究員、3) NPO 法人どーもわーく、
4) Employers Stammering Network

**1B-7 福島県における吃音問題に対する取り組み
—第3回、第4回福島吃音懇話会 当事者の集まりの活動報告から—**

- 黒澤 大樹(くろさわ だいき)¹⁾、森 弥生²⁾、生江 英一³⁾
1) 太田総合病院附属太田西ノ内病院 総合リハビリテーションセンター 言語療法科、
2) 福島県立医科大学 衛生学・予防医学講座、3) 福島市立福島第四小学校

1B-8 吃音相談外来と言友会の連携

- 岡部 健一(おかべ けんいち)
社会福祉法人 旭川荘南愛媛病院

1A-1 ICFに基づいたアセスメントプログラムによる教育・支援で用いた課題等の分析

- 小林 宏明(こばやし ひろあき)
金沢大学 人間社会研究域学校教育系

**1A-2 吃音に他の問題を重複する児童の実態Ⅱ
—保護者の回答結果を中心にした検討—**

- 宮本 昌子(みやもと しょうこ)¹⁾、小林 宏明²⁾、酒井 奈緒美³⁾、柘植 雅義¹⁾
1) 筑波大学 人間系、2) 金沢大学 人間社会研究域学校教育系、
3) 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 感覚機能系障害研究部

1A-3 当院における発達障害児の吃音発生率とその後の介入について

- 鮎澤 詠美(あゆさわ えみ)、浅岡 久子、高久 沙希、南 めぐみ
医療法人社団佳正会やまだこどもクリニック

1A-4 吃音を主訴に来院したクラタリングスタタリングの特徴

- 富里 周太(とみさと しゅうた)¹⁾²⁾³⁾⁵⁾、矢田 康人²⁾³⁾⁴⁾、白石 紗衣²⁾³⁾
1) 国立成育医療研究センター 感覚器・形態外科部 耳鼻咽喉科、2) こうかんクリニック 耳鼻咽喉科、
3) 日本鋼管病院 耳鼻咽喉科、4) 首都大学東京大学院 人文科学研究科 言語科学教室、5) よこはま言友会

1A-5 吃音用ペーシングボードを導入した小児吃音の改善例

○日比野 英子(ひびの えいこ)¹⁾、羽佐田 竜二¹⁾²⁾

1) 特定非営利活動法人 つばさ吃音相談室、2) 医療法人赫和会杉石病院

口頭発表5 8月31日(土) 10:30～11:50

C会場(2F 医療衛生学部多目的室1・2)

座長：小林 宏明(金沢大学 人間社会研究域 学校教育系)

2C-1 「吃音ノート」を取り入れた包括的アプローチの一例

○仲野 里香(なかの りか)¹⁾³⁾、菊池 良和²⁾、森田 紘生³⁾、立野 綾菜³⁾、宮地 英彰³⁾

1) 恵光会 原病院、2) 九州大学病院 耳鼻咽喉科、3) はかたみち耳鼻咽喉科

2C-2 発達障害を合併する吃音児の治療経過の比較

○南 めぐみ(みなみ めぐみ)

医療法人社会団佳正会 やまだこどもクリニック

2C-3 場面緘黙を合併する吃音幼児一例へのリッカム・プログラム(LP)の適応について

○浅岡 久子(あさおか ひさこ)

医療法人社団佳正会 やまだこどもクリニック

2C-4 “Easy relaxed speech” 音声学的特徴に関する予備的検討

○矢田 康人(やた やすと)¹⁾²⁾、高橋 三郎³⁾

1) 首都大学東京大学院 人文科学研究科 言語科学教室、2) 日本鋼管病院 耳鼻咽喉科、

3) 福生市立福生第7小学校

ポスター発表 プログラム

ポスター発表 8月30日(金) 15:20~16:00

ポスター会場(3F チーム医療演習室1・2)

1P-1 吃音者が多くの人前で話す際の合理的配慮について

- 細萱 理花(ほそがや りか)、大森 露恵、鈴木 雅明
帝京大学ちば総合医療センター 耳鼻咽喉科

1P-2 吃音一体がことばを作らない! 当事者の体の中で何が起きているのか?

- 松尾 久憲(まつお ひさのり)
NPO 法人千葉言友会

1P-3 一般大学生と比較した青年期吃音当事者の心理的・精神的健康の特徴

- 森 弥生(もり やよい)¹⁾、日高 友郎¹⁾、各務 竹康¹⁾、永幡 幸司²⁾、福島 哲仁¹⁾
1) 公立大学法人 福島県立医科大学 医学部 衛生学・予防医学講座、
2) 国立大学法人 福島大学 共生システム理工学類

1P-4 神経発達障害を併存する成人吃音者の社交不安に関する検討

- 吉澤 健太郎(よしざわ けんたろう)¹⁾²⁾、石坂 郁代²⁾³⁾、安田 菜穂¹⁾、長谷部 雅康¹⁾、
中島 麻友¹⁾、永野 亜依¹⁾、秦 若菜¹⁾³⁾、東川 麻里¹⁾³⁾、原 由紀¹⁾³⁾、福田 倫也¹⁾²⁾³⁾
1) 北里大学東病院 リハビリテーション部、2) 北里大学大学院 医療系研究科、3) 北里大学 医療衛生学部

1P-5 吃音者が捉える聞き手からネガティブな反応を受けやすい吃音症状

- 澤井 雪乃(さわい ゆきの)¹⁾、飯村 大智²⁾³⁾、宮本 昌子⁴⁾
1) 筑波大学大学院 人文社会科学部研究科、2) 筑波大学大学院 人間総合科学研究科、
3) 日本学術振興会 特別研究員、4) 筑波大学 人間系

1P-6 吃音者の就労支援に向けた取り組み: 企業参加型のセミナーを通して

- 竹内 俊充(たけうち としみつ)¹⁾、飯村 大智¹⁾²⁾
1) 特定非営利活動法人どーもわーく(吃音とともに就労を支援する会)、
2) 筑波大学大学院人間総合科学研究科 日本学術振興会特別研究員

1P-7 多語発話期の吃音幼児における一語発話と多語発話の吃音頻度 一予備的検討一

- 高橋 三郎(たかはし さぶろう)¹⁾、矢田 康人²⁾³⁾
1) 福生市立福生第七小学校、2) 首都大学東京大学院人文科学研究科 言語科学教室、
3) 日本鋼管病院 耳鼻咽喉科

1P-8 リッカム・プログラムを導入した学齢期吃音の1例 一プログラム実施上の留意点の検討一

- 角田 航平(かくた こうへい)¹⁾、坂田 善政²⁾、石川 浩太郎³⁾
1) 国立障害者リハビリテーションセンター病院 リハビリテーション部 言語聴覚療法、
2) 国立障害者リハビリテーションセンター学院 言語聴覚学科、
3) 国立障害者リハビリテーションセンター病院 耳鼻咽喉科

1P-9 幼児吃音への効果的な介入方法の検討

- 前新 直志(まえあら なおし)¹⁾、高橋 望²⁾、田口 結唯³⁾、清水 一真²⁾
1) 国際医療福祉大学 保健医療学部 言語聴覚学科、2) 国際医療福祉大学クリニック 言語聴覚センター、
3) 国際医療福祉大学塩谷病院 リハビリテーション科

2P-1 楽しくて、ほっとする、「親子きつおん交流会」

○前田 祐美(まえだ ひろみ)、中村 則男、島田 潤
NPO 法人 よこはま言友会

**2P-2 女性吃音当事者並びに吃音当事者に関わる女性のご家族への
支援活動実態アンケート調査の報告**

○安井 美鈴(やすい みすず)¹⁾²⁾、丸岡 美穂²⁾、松本 正美³⁾
1)大阪人間科学大学 医療心理学科 言語聴覚専攻、2)おおさか結言友会、3)全国言友会連絡協議会

**2P-3 吃音をもつ子どもの母親が抱く悩みと、
必要とするソーシャル・サポートに関する研究**

○吉田 恵理子(よしだ えりこ)¹⁾、永峯 卓哉¹⁾、菊地 良和²⁾
1)長崎県立大学 看護栄養学部 看護学科、2)九州大学大学院

2P-4 女性を対象にした吃音のセルフヘルプグループの可能性と課題

○村瀬 忍(むらせしのぶ)
岐阜大学 教育学部

**2P-5 地域における保育士・教員向けの吃音研修会の取り組み
～その教育・社会的意義の検討～**

○餅田 亜希子(もちだ あきこ)¹⁾、内藤 麻子²⁾、堅田 利明³⁾、結城 敬¹⁾
1)東御市民病院、2)梓川診療所、3)関西外国語大学

**2P-6 言語指導における保護者の吃音に対する意識変容について
—保護者の日誌解析から—**

○藤井 哲之進(ふじい てつしん)¹⁾、島田 美智子²⁾、豊村 暁³⁾
1)小樽商科大学 言語センター、2)札幌医学技術福祉歯科専門学校、3)群馬大学大学院 保健学研究科

2P-7 吃音情報発信を目的とした Web サイト『吃音ラボ』の取り組み

○皆川 裕己(みながわ ゆうき)¹⁾、矢田 康人²⁾³⁾
1)千葉言友会、2)首都大学東京大学院 人文科学研究科 言語科学教室、3)日本鋼管病院 耳鼻咽喉科

2P-8 バイリンガル吃音児・者の非流暢性症状と心理面に関する検討

○大江 卓也(おおえ たくや)¹⁾、酒井 奈緒美²⁾、宮本 昌子³⁾
1)筑波大学 人間総合科学研究科 障害科学専攻、
2)国立障害者リハビリテーションセンター研究所 感覚機能系障害研究部、3)筑波大学 人間系

ポストコンGRESセミナー

開催日：2019年9月1日（日）

時間：9:30～16:00（9:15受付）

会場：ユニコムプラザさがみはら
<https://unicom-plaza.jp/>

ポストコンGRESセミナー1

[学童期の吃音指導・支援3]

長年、吃音指導・支援を実践してこられたことばの教室教員らによるセミナー

第1セミナー	グループ指導の実際	瀧田 智子
第2セミナー	親としての思いを語る	松本 正美
第3セミナー	家庭のコミュニケーション環境の調整	西田 立朗
第4セミナー	在籍する学校のコミュニケーションの環境	牛久保 京子

ポストコンGRESセミナー2

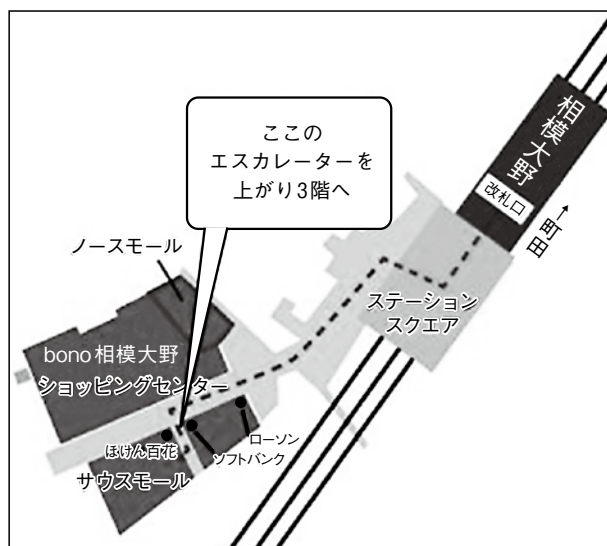
[吃音検査法]

吃音検査法に関する詳細な実施法・活用法に関する実習を含んだセミナー

講師・ファシリテーター

小澤 恵美・原 由紀・餅田 亜希子・坂田 善政・酒井 奈緒美・角田 航平

※吃音検査法第2版 解説をお持ち下さい



相模大野駅中央改札口から北口デッキに出て、左手に進むと「bono 相模大野」が見えます。そのまま bono 相模大野のショッピングセンターとサウスモールの間の2F 中央通路（ボーノウォーク）を進み、「SoftBank」と「ほけん百花」の間に入ったところのエスカレーターで3Fに上がってください。

A series of horizontal dashed lines spanning the width of the page, providing a template for writing.

特別講演

SL

ことばのちから

重松 清(しげまつ きよし)

吃音がなければ、僕は作家になっていませんでした。

それは間違いない。

吃音のおかげで得たものはたくさんあります。

でも……「吃音があつてよかったですか？」と訊かれたら、しばらくじっと考え込んだあと、首を横に振るでしょう。

頭に浮かんだことを、そのままスツと言葉にしてしゃべれる幸せが、ずっと欲しかった。いまでも欲しい。

それでも……僕は、吃音に多くのことを教わってきました。

そういう話をしたいと思います。

五時間目の授業で教科書の朗読の順番が回ってくるのが嫌で、昼休みに高校を早退してしまった、あの頃の自分に語りかけるつもりで話そうと思います。

よろしく。



© 新潮社写真部

略 歴

1963年 岡山県生まれ。早稲田大学教育学部卒。出版社勤務をへて著述業に。

1999年 『ナイフ』で第14回坪田譲治文学賞受賞。

1999年 『エイジ』で第12回山本周五郎賞受賞。

2001年 『ビタミンF』で第124回直木賞受賞。

2010年 『十字架』で第44回吉川英治文学賞受賞。

2014年 『ゼツメツ少年』で第68回毎日出版文化賞受賞。

その他の主な著書に『流星ワゴン』『とんび』『きみの友だち』『疾走』『その日のまえに』など。吃音の主人公が登場する『きよしこ』『青い鳥』などあり。

2016年から、早稲田大学文化構想学部教授（任期付き）

A series of 25 horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for writing or drawing.

口頭発表

日本吃音・流暢性障害学会 第7回大会
プログラム・抄録集

大会長：原 由紀

事務局：北里大学医療衛生学部 リハビリテーション学科
言語聴覚療法学専攻
〒252-0373 神奈川県相模原市南区北里1-15-1
FAX：042-778-9683
E-mail：jssfdmeeting7@gmail.com

出版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>



日本吃音・流暢性障害学会第7回大会事務局

北里大学医療衛生学部 リハビリテーション学科
言語聴覚療法学専攻内

〒252-0373 神奈川県相模原市南区北里1-15-1

E-mail: jssfdmeeting7@gmail.com